

園長先生の子育てひろば

令和4年4月



行きしぶり

園長 山中 文

新学期ですね。保育園や幼稚園に新しく通いはじめたお子さまがいらっしゃるご家庭も多いことでしょう。

4月の保育園や幼稚園は、子どもたちの泣き声や不安そうな声が聞こえる頃です。はじめての場所にはじめての人、はじめてのものばかりのところに通うのですから無理もありません。

子どもたちは、最初はずっとぐずっていることもあります、そのうち泣き止むことが多くなり、いつのまにか、遊びの中に溶け込んでいきます。保護者の方がいる間はくつづいて離れなくとも、保育がはじまると、じわじわと保育に入り、笑顔が多くなります。

それはわかっていても、最初のうちは保護者のみなさまもご心配なことでしょう。

女優の杏が、インスタグラムで、ご自分の子どもたちが行きしぶりをした時のことを書いていました。それによると、子どもの行きしぶりに困っていた時、通園していた園の先生に「がんばりカード」を書いてはどうかと提案されたそうです。通園カバンの中に入れておいて、たまに見ていいというようにしたものだと。杏は、子どもたちのリクエストを聞きながら、いろいろなキャラクターの絵を描き、「きょうもがんばろう」といったメッセージを添えたカードを作成していました。きっと子どもたちは、不安を感じたらそっとそのカードに触れたことでしょう。

本園でも、教室入り口までという約束ではありますが、お気に入りのぬいぐるみと登園したり、教室に入る時に頭をなでて何やらおまじないのような文句をかけあったりしている登園風景がみられます。

子どもたちが社会に踏み出していく、その大事な一歩ですから、いやならやめるというものでもありませんし、心配だからずっと付き添っているというものでもありません。どこかで折り合いをつけながら、不安な気持ちから楽しい気持ちに転換するまでを見守っていかなくてはいけませんね。

その不安感の解消の決め手はそれぞれに異なることでもあります、まずは「ぬいぐるみ」や「カード」、可愛いおまもり、ちょっとしたおまじないなど、不安感をやわらげるような何かを親子で考えたり、楽しみにできるような保育の内容を知らせたり（「幼稚園には大好きな怪獣の絵本があったね」とか「きょうは色水で遊ぶ日だね」など）することもいいかと思います。そして、そのあとは、さっぱりとバイバイをして、お子さまから離れてみましょう。

春は保護者のみなさまも子どもたちもぼちぼちと「勇気ある一歩」の季節ですね。



*このカードは、一時期ネット上で見えましたが、現在、見ることができません、